

報道関係各位

2024年6月4日

メタバース プロダクション、世界遺産「軍艦島」の3Dデータをバーチャルプロダクション向け背景素材として7月5日より提供開始

～ HERITAGE DATABANK と連携、素材使用料の一部を世界遺産の保全予算として還元 ～

ヒビノ株式会社が、株式会社東北新社、株式会社電通クリエイティブX、株式会社電通クリエイティブキューブ、株式会社オムニバス・ジャパンと推進する共同プロジェクト「メタバース プロダクション」は、世界遺産をはじめとする貴重な自然や文化を3Dデータ化・活用することで保全活動に還元していくプロジェクト「HERITAGE DATABANK（ヘリテージ・データバンク）」と連携し、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつである端島炭坑（通称：軍艦島）の3Dデータをバーチャルプロダクション^(※1)向け背景素材として、軍艦島が世界遺産に登録されることが決定した日に合わせて7月5日（金）より提供開始いたします。



<https://youtu.be/5x8ZKo97s1E>



軍艦島は、長崎港から南西約 18km の海上に位置し、海底炭鉱の島として栄え、日本初の鉄筋コンクリート造による住民向けの高層アパートが建築されるなど、明治日本の近代化を支えてきました。2015 年に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつ 軍艦島は、近年は観光客向けの上陸ツアーが盛り上がっています。一方、1974 年に炭坑が閉山し、人が住まない建物は老朽化が進んでおり、地理的・技術的理由からその保全は困難を極めています。

HERITAGE DATABANK は 2023 年に始動し、世界遺産をはじめとする貴重な自然や文化を 3D データ化して保存し、さまざまな企業・団体とともにそのデータを活用する保全プロジェクトを進めています。その第一弾として、長崎市協力のもと 10 日間にわたり全島を撮影。立入禁止区域や建造物の内側を含め、デジタルアーカイブ化に成功しました。

今回、メタバース プロダクションは HERITAGE DATABANK と連携し、デジタルアーカイブ化された軍艦島の 3D データをバーチャルプロダクションで利用できる背景素材として提供いたします。本素材は Unreal Engine で開発され、インカメラ VFX 撮影に対応しており、メタバース プロダクションが提供する PX サービスとして利用可能です。素材使用料の一部は、長崎市へ軍艦島の保全予算として還元されます。

今後も各社と連携を深め、業界の垣根を越え、“映像制作の新たな選択肢”として選ばれ続けられるよう、Production Transformation（映像制作トランスフォーメーション）につながる PX^(※2) サービスの拡充・拡張に努めてまいります。

※1 バーチャルプロダクション：背景となる高精細 LED ディスプレイに仮想空間を投影し、その前の被写体と合わせて撮ることで、自然な合成映像をリアルタイムにつくる映像制作手法

※2 PX：プロダクション・トランスフォーメーション（Production Transformation）の略

HERITAGE DATABANK について



「デジタルアーカイブ×クリエイティブデザイン」で、世界の貴重な自然や文化を保全し、新たなカルチャーを創り出すプロジェクト。世界有数の 3D スキャン技術による、超高精細なデジタルアーカイブの実現と、メタバースや WEB 3.0 時代における、3D データの新たな活用と体験の開発で、保全活動だけでなく、観光やエンターテインメントまでも、アップデートします。

メタバース プロダクションについて



テクノロジーを駆使し、映像制作ワークフローにおける“温室効果ガスの削減”と“プロセス効率化”を目指す、東北新社、電通クリエイティブX、ヒビノ、電通クリエイティブキューブ、オムニバス・ジャパンによる共同プロジェクト。メタバース内で映像制作が完結する未来を見据え、バーチャルプロダクション撮影（インカメラ VFX）の普及・推進や各種サービス開発・提供を進めています。

■公式サイト：<https://metaverse-px.com/>

■X（旧 Twitter）：https://twitter.com/metapro_PR

■Facebook：<https://www.facebook.com/metaproPR>

■YouTube：

https://www.youtube.com/channel/UCGm8GekbqPtara2A_48GeTg

以上

【本リリースに関するお問い合わせ】

お客様からのお問い合わせ（バーチャルプロダクションシステムのご利用について）

ヒビノ株式会社

ヒビノビジュアル Div. Hibino VFX Studio（studio PX HIBINO）

TEL：03-5419-1611

E-mail：VFXstudio@hibino.co.jp

報道関係者様からのお問い合わせ

ヒビノ株式会社 ヒビノ GMC 経営企画グループ 広報課

TEL：03-3740-4391（代表）

E-mail：ir@hibino.co.jp